

# 警城時報

福島縣石城郡平町船屋町十四  
印刷 船屋町十四  
編輯 船屋町十四  
發行 船屋町十四  
電話 船屋町十四  
社址 船屋町十四  
支店 船屋町十四  
廣告料 一行十四字 日金五拾錢  
印刷料 一行十四字 日金五拾錢  
訂金 一月 日金五百拾錢  
月刊 日金一千五百拾錢

## 何處までも嚴重な 平署の交通取締

### 露天商人 大恐慌

平署では交通事故防止のため先づ道路取締を最も嚴重に行ひ違反者は片づきから嚴罰に處する方針の下に取締を行つてゐる事既報の如くであるが、更に完全を期するため平町目貫の場所である三丁目常磐銀行支店附近の店は斷然罷り成らぬと嚴しい達しを出したので露天商人は大恐慌を感じてゐるが、平署では違反者があればドシム、處罰するに語つてゐる、向ほ二日から三日にかけて交通取締の檢査に上つたもの左の如く、何れも即決科料に處せられた。

▲内郷村魚行商高坂春吉(三)

## 小川の娘襲撃事件 結局問題にはなるまい

### 三笠検事臨床訊問

既報一去る二十四日夜石城郡赤松系者を取調中であつたが、政井村大字塩田勝又政治(二〇)が治はサトを襲つた際サトの母が乗てから思ひをかけてゐた小川發見し政治を土間に突き飛ばし村大字上小川鈴木サト(十八)假た際政治は腹部に致命傷を負つ(名)の寝込みを襲ひ歸り途同村たもので、その後、襲撃した光青年鈴木光雄(二〇)鈴木藤(二)鈴木三郎(三)の三名は傷害罪になる程(三)等に殴打され腹膜炎を起し度のものでなく、サトの母の行て危篤に陥つた事件は平署で關為は正當防衛として適法のもの

## 交通取締

で結局政治の自業自得といふ事で問題は解決されるらしい、尙ほ四日後平町検事局から三笠検事、平署から若林司法主任が政治宅に出張し臨床訊問を行つた

## 警城青年同盟會 會長に木村氏當選

警城青年同盟會の秋期總會は三日午前九時から石城郡大野村大字湯の澤藤屋に開いたが出席者百名、諸般の報告、協議等の後役員改選を行つた結果會長に木村守江氏當選したが、會長以下役員は木村會長に一任する事になつた、午後一時から松茸狩りを行ひ散會した。

## 四倉市場取引

南市場三日出廻りは九百六十七貫、高値七圓五十二錢、安値五圓八十六錢、平均六圓六十九錢であつた。

## 遠藤助役出張

遠藤助役は四日會津若松に開催される縣下町村長會に出席のため出張した。

## 農業講演會

大浦村で

## 吳服屋の反物を 預つて人質

石城郡警崎村大字藤原居住北海道生れの朝倉千代(一九)は本年九月中平町字堂の前吳服商白木源太郎より銘仙反物數十反を月賦で販賣すると稱して販賣せず同村の質屋小畑寅之助方へ該反物を入質し白木方へは月賦一ヶ月間の代金を拂ひ残金を着服してゐたこと平署員に知られ二日署へ連行取調中であるが、被害は五百餘圓に達し他にも同種の犯行あるらしく引續き嚴重取調中である。

## 絶景川前の紅葉 見頃は十日頃から

今年例年より早い、冷気が早かつたせい木々の紅葉する事も少しく早く、ポツポツ各地から楓の便りを聞くやうになつたが、矢張り見頃は今年例年より早い、三日曜にかけてであらう、紅葉の所と云へば平地方では警越東線一帯に沿つた夏井川の深谷であるが、殊に川前、小川郷間が勝れて居て約八里の間岩を洗ひ清流に沿つて大森林が紅葉した雄大な筆に口にもつくし難い。

## 難波博士夫人逝く

平町警城共済病院院長難波陸氏夫人は久しく病氣中の處三日午前仙臺市伊藤病院で死去した。

## 昭交會發會

民政黨の別働隊である江名昭交會は三日午後一時から顧問に推した野崎縣議出席の上江名町勇屋で發會式を舉行したが役員左の如し。

## 平町の大掃除

の定期秋期清潔法は左の日割で執行することに決定した。

▲六日 三、四、五丁目、立町  
▲七日 新町、長橋町、研町、古鍛冶町、紺屋町、材木町、堂の前、鍛冶町、田中、一丁目、二丁目、搦手小路、舊城跡、六間門、杉平、櫻町、北目町、胡麻澤、八幡小路、揚土、道匠小路、高月、久保町、七軒町、南町、十五丁目、田町

## 秋窓漫語

武藤 豊

マルクス主義を理解し得ざる我が、プロレタリア文學理論の解らざるは、でも私最近文學界に論議されてゐる、文學理論家の理論闘争的な文學論を好んで讀み耽つた。

文學作品に於ける「藝術的價值」と政治的價值」といふマルクス主義文學に對する二元的解釋の問題を提出したのは平林初之輔氏であるが、同氏の

## 山野邊氏慶事

平町仙臺市伊藤病院で死去した。

## 消防組頭大會

相馬郡下消防組頭大會は来る十二日午前九時より原町公會堂に於て新選部長主任三男光康(三三)は開催する筈なり。

## 新選部長不幸

平署午前九時より原町公會堂に於て

## 難波博士夫人逝く

平町警城共済病院院長難波陸氏夫人は久しく病氣中の處三日午前仙臺市伊藤病院で死去した。

## 昭交會發會

民政黨の別働隊である江名昭交會は三日午後一時から顧問に推した野崎縣議出席の上江名町勇屋で發會式を舉行したが役員左の如し。

## 平町の大掃除

の定期秋期清潔法は左の日割で執行することに決定した。

▲六日 三、四、五丁目、立町  
▲七日 新町、長橋町、研町、古鍛冶町、紺屋町、材木町、堂の前、鍛冶町、田中、一丁目、二丁目、搦手小路、舊城跡、六間門、杉平、櫻町、北目町、胡麻澤、八幡小路、揚土、道匠小路、高月、久保町、七軒町、南町、十五丁目、田町

## 秋窓漫語

武藤 豊

マルクス主義を理解し得ざる我が、プロレタリア文學理論の解らざるは、でも私最近文學界に論議されてゐる、文學理論家の理論闘争的な文學論を好んで讀み耽つた。

文學作品に於ける「藝術的價值」と政治的價值」といふマルクス主義文學に對する二元的解釋の問題を提出したのは平林初之輔氏であるが、同氏の

